



Citrix Ready ワークスペースハブ

Contents

このリリースについて	3
システム要件	6
導入	7
Citrix Ready ワークスペースハブの使用	12
トラブルシューティング	20

このリリースについて

February 12, 2021

新機能

1909 の新機能

- **IP** ベースの方法で近くのハブに **Mac** または **Windows** の表示をミラーリング。デバイスで Bluetooth が有効になっていない場合、またはハブがハブ一覧メニューに表示されない場合、ハブの IP アドレスを手動で入力できます。Mac または Windows デバイスは、デスクトップの表示を指定されたハブにミラーリングします。詳しくは、「[Mac](#)」および「[Windows](#)」デバイスのヘルプドキュメントを参照してください。
- **Mac** および **Windows** デバイス上のセッションを自動的に切断。ノートブックを閉じると、画面キャストのセッションが自動的に切断され、ハブで終了します。この設定を無効にするには、「[画面キャストのセッションの切断](#)」を参照してください。

1906 の新機能

- 周辺機器を使用してワークスペースハブで **Mac** および **Windows** セッションを制御します。ハブとデバイスの両方でキーボードとマウスを使用してセッションを管理できるようになりました。詳しくは、「[Citrix Casting](#)」を参照してください。

1904 の新機能

このリリースでは全体のパフォーマンスと安定性の向上に役立つ機能強化が行われています。

- ワークスペースハブとクライアント間のセキュリティで保護された接続の強化。Citrix Ready ワークスペースハブのセキュリティを最適化するには、ドメインとホスト名を設定します。詳しくは、「[セキュリティ接続](#)」を参照してください。
- **Web** コンテンツの表示に最適化されたパフォーマンス。Web ブラウザーコンテンツのリダイレクトポリシーを設定することにより、Web ブラウザーコンテンツの配信を改善できます。詳しくは、[Web ブラウザーコンテンツの最適化](#)を参照してください。

解決された問題

1909 で解決された問題

- このリリースは、さまざまな問題に対応しているため、パフォーマンスや安定性が総合的に向上しています。

1906 で解決された問題

- INHERIT (VERBOSE) に設定されている場合、Citrix Casting はログを記録しません。[WH-1754]

1904 で解決された問題

- Raspbian Stretch OS で WebkitGTK のバージョンを 2.16 にアップグレードすると、パフォーマンスが低下することがあります。イメージを 2.09 にダウングレードするよう、Stratodesk に依頼済みです。[WH-1665]
- セカンダリディスプレイアダプタを全体でマウスカーソルの動きが遅くなることがあります。[WH-1664]
- アップグレード後の Raspbian Stretch OS で HDX RealTime Optimization Pack の音声通話を開始すると、USB マイクでエラーが発生します。[WH-1647]
- Xiaomi Mi パッドでセッションキャストを行っている際に、DisplayConnector マウススレッドが突然終了することがあります。[WH-1419]
- Android プロキシミティ構成で、テキストの オン/オフ設定が重複します。[WH-1407]
- 初回起動画面が突然終了し、ハブのログオンページが表示されることがあります。[WH-1371]

1812 で解決された問題

- Stratodesk イメージで wshcollect.sh ファイルを実行したときに、データが正しく表示されません。[WH-1619]
- マウスやキーボードで操作すると、初回起動画面が応答しなくなったり繰り返して表示されるなどの画面の異常が生じることがあります。[WH-1662、WH-1609、WH-1608]
- 新しい Raspbian Stretch OS で初回起動画面を閉じて、controlservice プロセスの実行が止まりません。このため、ワークスペースハブの起動に失敗します。[WH-1586]
- Raspbian Stretch OS へのアップグレード後に、Android デバイスでセッションキャストを停止できないことがあります。[WH-1547]
- VDA セッションでの Linux 向け Citrix Workspace アプリの使用時に、Outlook の予定に、ワークスペースハブの時刻よりも 1 時間早い時刻が表示されます。[WH-1511]
- Windows デバイスで画面キャストの拡張モードを終了すると、マウスが画面の中央まで急速に移動することがあります。[WH-1402]
- Microsoft Windows 10 セッションのデスクトップで、不要な黒線が表示されます。[WH-860]

既知の問題

1909 の既知の問題

- このリリースで確認されている新しい問題はありません。

1906 の既知の問題

- 現在、ハブに接続されたキーボードでは US レイアウトのみをサポートします。パフォーマンスを向上させるには、VDA サイドキーボードをハブに合わせます。[WH-1798]

1904 の既知の問題

- このリリースで確認されている新しい問題はありません。

1812 の既知の問題

- Raspbian Stretch OS で WebkitGTK のバージョンを 2.16 にアップグレードすると、パフォーマンスが低下することがあります。イメージを 2.09 にダウングレードするよう、Stratodesk に依頼済みです。[WH-1665]
- セカンダリディスプレイアダプタを全体でマウスカーソルの動きが遅くなることがあります。[WH-1664]
- アップグレード後の Raspbian Stretch OS で HDX RealTime Optimization Pack の音声通話を開始すると、USB マイクでエラーが発生します。[WH-1647]
- Xiaomi Mi パッドでセッションキャストを行っている際に、DisplayConnector マウススレッドが突然終了することがあります。[WH-1419]
- 初回起動画面が突然終了し、ハブのログオンページが表示されることがあります。[WH-1371]

既知の制限事項

- Web Interface ストアはセッションローミングをサポートしていません。そのため、[Web インターフェイスとしてアカウントタイプを追加] チェックボックスをオンにしないでください。
- Windows でセッションを切断すると、ハブでセッションが終了するまで約 20 秒かかる場合があります。
- デュアルモニターではセッションローミングがサポートされません。セッションのキャストはサポートされません。
- HDX RealTime Optimization Pack を使用するには、[ハードウェアレンダリングを使用する] を [オフ] に設定する必要があります。この機能は、プライマリ画面でのみ動作します。セカンダリ画面のウィンドウは灰色になります。
- ワイヤレスマウスデバイス - ワイヤレスマウスでドラッグ操作を行うと、遅延が発生することがあります。このエラーが発生した場合は、Citrix Ready ワークスペースハブの掲示板で報告してください。報告の際には、マウスの製造元とモデルを記載してください。
- Citrix Casting は、モバイルデバイスがワークスペースハブと同じネットワークに接続されている場合のみ機能します。
- 5G ワイヤレス - ワークスペースハブは、5G ワイヤレスを現在サポートしていない Raspberry Pi3 プラットフォーム上に構築されています。ただし、USB Wi-Fi ドングルを使用して 5G をサポートすることはできます (非推奨)。
- Enlightened Data Transport (EDT) プロトコルは、Citrix Ready ワークスペースハブではサポートされていません。

システム要件

September 10, 2019

ネットワーク

- モバイルデバイスは、ワークスペースハブと同じネットワーク上（Wi-Fi またはローカルエリアネットワーク）にある必要があります。
- モバイルデバイスとワークスペースハブの間でポート 55555 をブロックしないでください。
- Citrix Casting を使用する場合は、ポート 1494 をブロックしないでください。
- ポート 55556 は、モバイルデバイスと Citrix Ready ワークスペースハブの間の SSL 接続のデフォルトポートです。Pi の設定ページで別の SSL ポートを構成できます。SSL ポートがブロックされている場合、ユーザーはハブへの SSL 接続を確立できません。

Citrix Virtual Desktops

Citrix Ready ワークスペースハブは、Citrix XenDesktop 7.6 以降でサポートされています。

- セッションローミングの場合、Citrix Ready ワークスペースハブが HDX サーバー（VDA）にアクセスできることを確認します。
- セッションローミングと画面キャストを使用する場合、Citrix Studio の [圧縮にビデオコーデックを使用する] ポリシーが [画面全体] に設定されていることを確認してください。このように設定されていない場合、パフォーマンスの問題が発生する可能性があります。

ハードウェア

- Citrix Ready ワークスペースハブ
- モニター 2 台（デュアルモニター環境の場合のみ）
- Citrix Workspace アプリを実行するモバイルデバイス
- HDMI ケーブルと電源
- マイクロ USB-USB A ケーブル（セカンダリディスプレイアダプタ（[SDA]）を使用する場合）
- オプションのハードウェア（USB キーボード、USB マウス、ヘッドホンなど）
- Raspberry Pi Zero を搭載した SDA

2018 年 10 月時点では、以下のオペレーティングシステムおよび Citrix Receiver または Citrix Workspace アプリの各バージョンで実行されているデバイスがサポートされています：

- Android: Citrix Receiver 3.13.5 以降、Android 向け Citrix Workspace アプリ 1808 以降
- iOS: iOS 向け Citrix Workspace アプリ 1810.1 以降
- Mac: Mac 向け Citrix Workspace アプリ 1808 以降（画面キャストのみ）
- Windows: Windows 向け Citrix Workspace アプリ 1809 以降（画面キャストのみ）

導入

February 12, 2021

HDX Ready Pi のアップグレード

既存の HDX Ready Pi デバイスを Citrix Ready ワークスペースハブへアップグレードするには、以下の手順を参照してください:

- **Viewsonic:** <https://www.stratodesk.com/t25-upgrade>
- **NComputing:** <https://www.ncomputing.com/hub>

内部の中央管理による初期セットアップ

Stratodesk 管理コンソールを作成するには、Stratodesk の Web サイト (https://www.stratodesk.com/kb/Main_Page) にアクセスして、アカウントを作成します。

Citrix Endpoint Management による初期セットアップ

Citrix Endpoint Management を Citrix Ready ワークスペースハブの管理ソリューションとして使用するには、中央管理 URL を指すようにワークスペースハブを構成する必要があります。「[Citrix Endpoint Management サーバー](#)」に記載されている手順に従います。

注:

以前に NoTouch 管理コンソールでデバイスを指定していた場合は、デバイスを工場出荷時のデフォルト状態にリセットする必要がある場合があります。

集中管理を使用しない構成

1. Citrix Ready ワークスペースハブデバイスを起動します。
2. [開始] > [構成] を選択します。デフォルトのパスワードは「admin」です。
3. [接続] > [追加] を選択します。
4. 新しい接続を編集し、接続モードに [**Citrix/WorkspaceHub**] を選択します。[保存] をクリックします。
5. 画面上部の [ワークスペースハブ] ボタンをクリックします。
6. 初回起動画面に指定する URL を入力します (URL に <http://> または <https://> を追加します)。通常は、StoreFront または Citrix Gateway の URL を指定しますが、ハブ上で起動する任意の URL を指定することもできます。
7. [保存] をクリックします。
8. Citrix Ready ワークスペースハブを再起動します。

Citrix Virtual Apps and Desktops の構成

ハブのオーディオとビデオの品質が最適化されるように Citrix Virtual Apps and Desktops コンポーネントを構成します。

Web ブラウザーコンテンツの最適化

ハブで実行されているセッションの Web コンテンツの配信を強化できます。Web ブラウザーコンテンツのリダイレクトポリシーでは、ハードウェアオーバーレイをカスタマイズし、ワークスペースハブのパフォーマンスを改善します。

1. [Web ブラウザーコンテンツのリダイレクト](#)ポリシーを構成します。
2. ワークスペースハブで、**[Connections] > [Citrix Workspace Hub] > [Citrix Workspace App] > [Secondary Display]** の順に進み、**[Use Hardware Rendering]** を無効にします。ブラウズ操作をシームレスに行うには、リダイレクトタブを 1 つ使用します。

注:

Internet Explorer のみが [Web ブラウザーの最適化機能](#) をサポートします。

Skype for Business

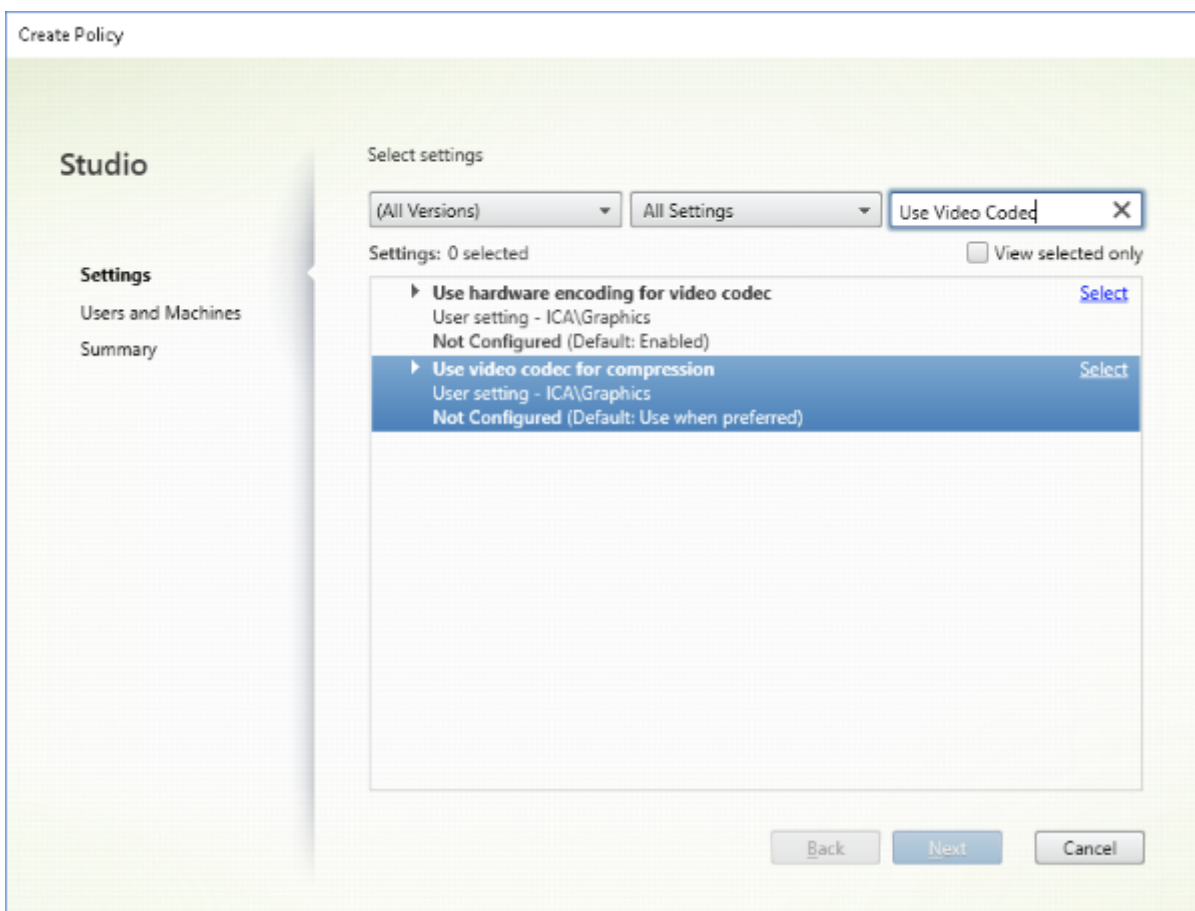
Skype for Business を使用するには、VDA に [HDX RealTime Optimization Pack バージョン 2.4](#)以降をインストールします。Optimization Pack が使用されている場合は、**[ハードウェアレンダリングを使用する]** を **[オフ]** に設定します (詳しくは、下記「パフォーマンスポリシー」セクションを参照してください)。

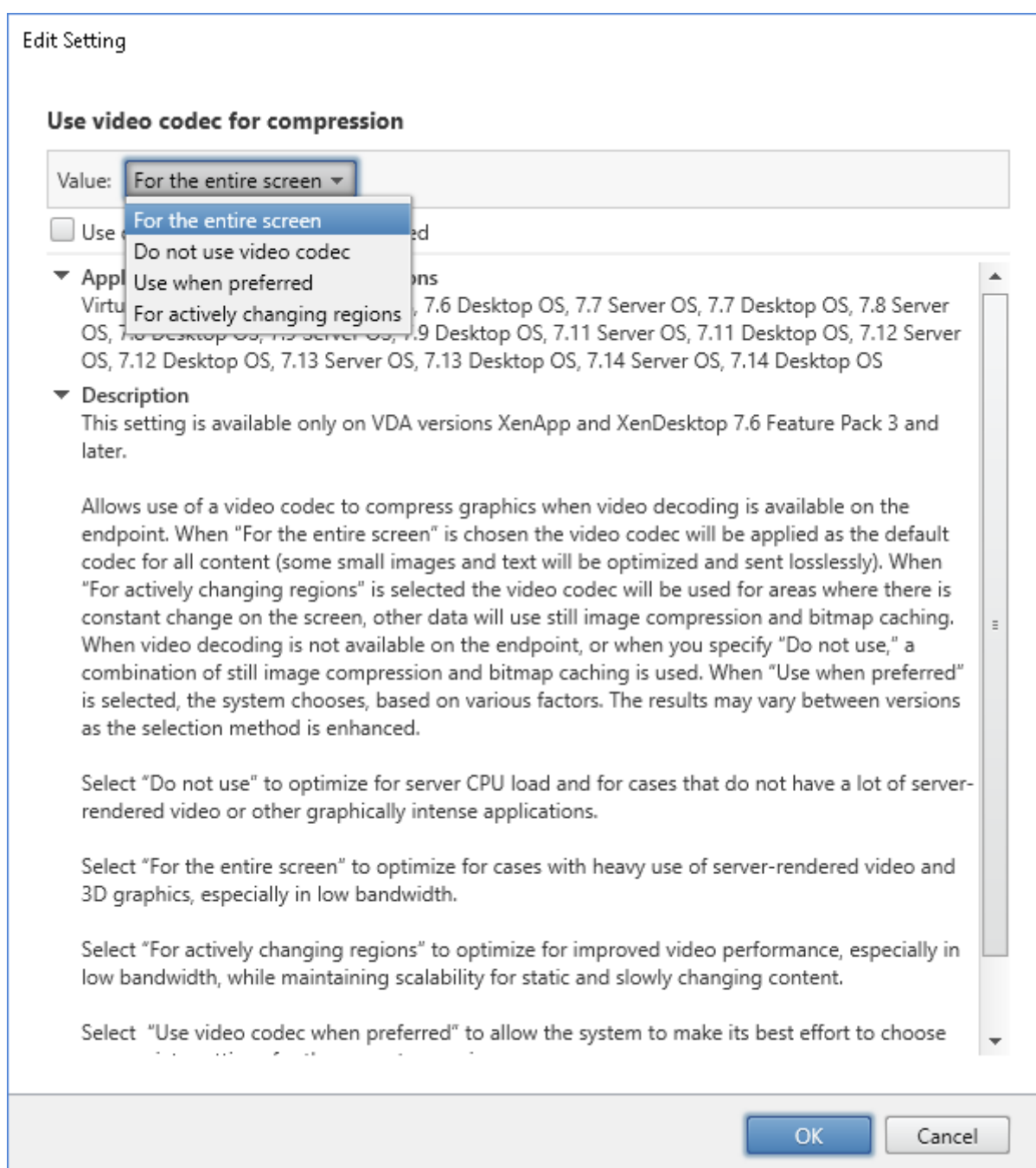
注:

現在、Optimization Pack バージョン 2.4 ではデュアルディスプレイはサポートされていません。

パフォーマンスポリシー

Citrix Ready ワークスペースハブ (およびセカンダリディスプレイアダプタ; SDA) で最高のエクスペリエンスを得るには、全画面モードの H.264 エンコードを有効にします。これを行うには、ポリシーを作成し、全画面モードの H.264 圧縮用ビデオコーデックを有効にします。





SDA が正常に機能するように全画面モードで H.264 圧縮が有効になっていることを確認するには、次のいずれかの手順を参照してください。

- Deliver Controller で Citrix ポリシーを確認します。
- VDA セッションで、HDX Monitor 3.x を使用します。Knowledge Center の技術文書 (CTX135817) を参照してください。
- VDA セッションのターミナルで、次の行を入力して実行します: `wmic /namespace:\root\citrix\hdx path citrix_virtualchannel_thinwire get /value`

これにより、グラフィックモードが全画面 H.264 モードに合わせて正しく設定されていることを確認できます：

1. **Component_VideoCodecUse = FullScreen**
2. **Component_Encoder = DeepCompressionV2Encoder**
3. **IsActive = Active**

グラフィックモードが選択的な画面の H.264 用に構成されている場合は、以下の点を確認します：

1. **Component_VideoCodecUse = 領域をアクティブに変更**
2. **Component_Encoder = CompatibilityEncoder**
3. **IsActive = Active**

より優れた表示解像度を得るには、Windows VDA で **ClearType** を有効にします。詳しくは、「[Microsoft ClearType の概要](#)」および「[Windows 10 で ClearType をオンまたはオフにする方法](#)」を参照してください。

デュアルモニターの設定アップ

デュアルモニターをサポートするには、セカンダリディスプレイアダプタ (SDA) が必要です。SDA は、ViewSonic または NComputing から購入できます。詳しくは、「<https://www.stratodesk.com/kb/Multimonitor>」を参照してください。

機器の設定アップ

SDA には 2 つのマイクロ USB ポートがあります。1 つはラベルに「電源」と書かれており、もう 1 つは「USB」と書かれています。標準の Raspberry Pi USB 電源アダプタを電源ポートに接続し、標準のマイクロ USB-USB ケーブルを使用して SDA の USB ポートとワークスペースハブを接続します。

ソフトウェアの設定アップ

前のセクション「[Citrix Virtual Apps and Desktops の構成](#)」を参照してください。パフォーマンスポリシーに従って、両方の画面で H.264 レンダリングを設定します。

セッションを Citrix Ready ワークスペースハブにローミングすると、デュアルモニターを自動的に起動できます。レイアウトとアラインメントの構成を変更するには、Stratodesk 管理コンソールから、構成パスの [接続] > [ワークスペースハブ] > [Citrix Workspace アプリ] > [セカンダリディスプレイ] の順に進みます。

Citrix Workspace アプリの Citrix Ready ワークスペースハブ

Citrix Workspace アプリを、Citrix Ready ワークスペースハブ用に有効化することができます。この使いやすいソフトウェアを利用することで、ユーザーが登録されている特定のワークスペースアプリケーションやデスクトップへのシームレスかつ安全にアクセスを提供できます。ワークスペースハブでは、複数のプラットフォームとクライアントからワークスペースリソースを起動できます。ワークスペースハブ用にデバイスを構成する方法について詳しくは、[Android](#)、[iOS](#)、[Windows](#)、[Mac](#)の各プラットフォームのドキュメントを参照してください。

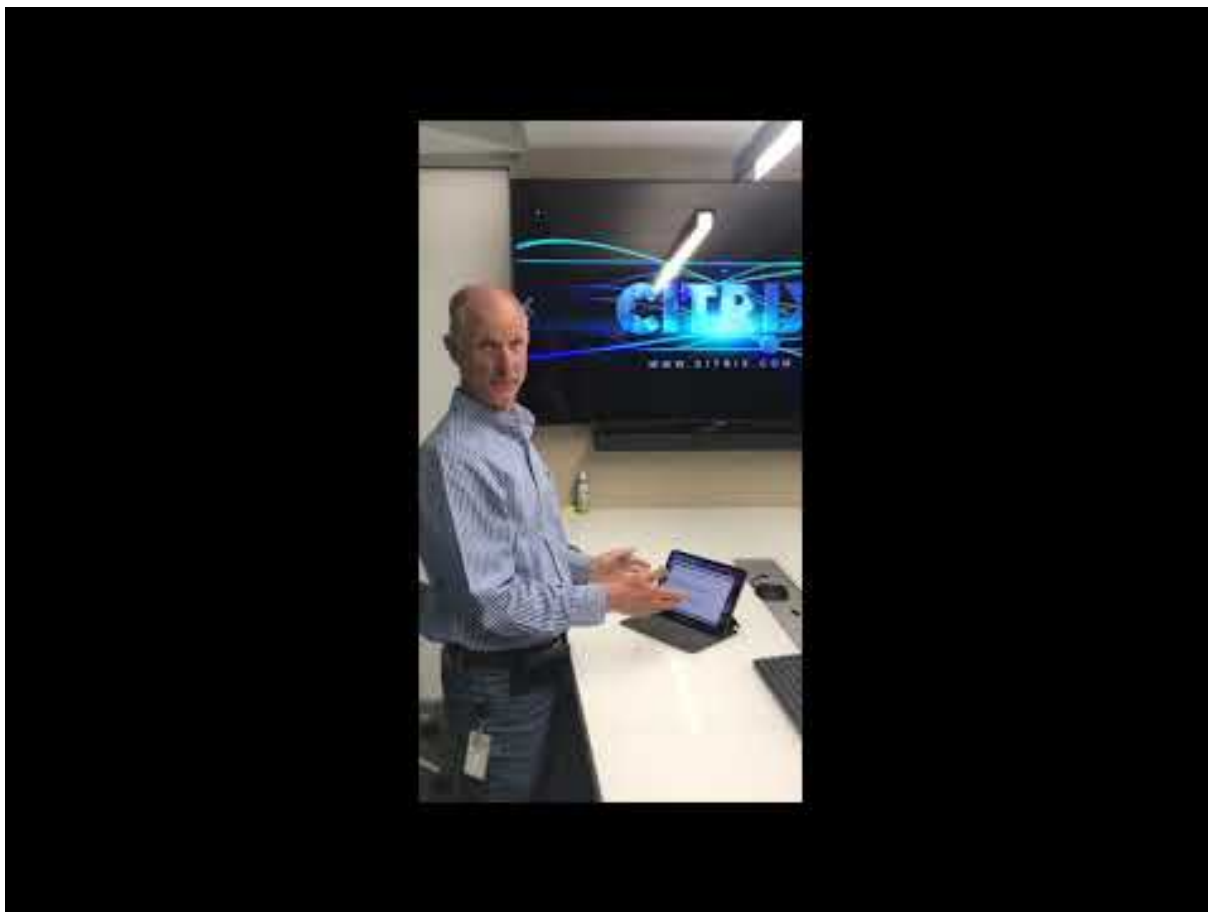
Citrix Ready ワークスペースハブの使用

February 12, 2021

Citrix Casting

Citrix Ready ワークスペースハブによって Citrix Casting が有効になり、モバイルセッションを安全にローミングおよびキャストし、デスクトップ表示をミラーリングできます。セッションをローミングするには、近接認証の範囲を入力するか、ハブで QR コードをスキャンします。一方、セッションキャストでは、モバイルデバイスでセッションを開始してから、QR コードをトリガーして転送する必要があります。Mac および Windows の場合、画面をハブにのみミラーリングできます。これらのプラットフォームでは、セッションローミングとセッションキャストは使用できません。

以下は、Citrix Casting の使用方法を説明するビデオです。



近接認証によるセッションローミング

近接認証を使用すると、ユーザーはデバイスに触れることなく、セッションを自動的に開始できます。近接認証では、Bluetooth 技術を利用してモバイルデバイスを検出します。Android 6.0 以降では、Bluetooth とロケーションの両方のアクセス許可を有効にします。構成が完了して Citrix Workspace アプリが起動した後にデバイスがハブの近接認証範囲に入ると、セッションはワークスペースハブへローミングされます。この機能は、Android デバイスでのみ利用できます。

QR コード認証によるセッションローミング

ハブの QR コードをスキャンして、iOS または Android デバイスからセッションをローミングします。セッションをハブにローミングすると、そのセッション内で利用可能なすべての周辺機器をワークスペースハブで完全に制御できるようになります。詳しくは、[iOS](#)および[Android](#)デバイスのヘルプドキュメントを参照してください。

QR コード認証によるセッションキャスト

iOS または Android デバイスでリモートセッションを起動し、QR コードをスキャンして画面をハブに転送します。モバイルデバイス上およびハブ上のキーボードとマウスを使用して、セッションを制御できるようになります。詳しくは、[iOS](#)および[Android](#)デバイスのヘルプドキュメントを参照してください。

近接検出を使用した画面キャスト

リモートセッションを開始せずに、デスクトップ表示をハブにキャストします。Bluetooth と Wi-Fi を使用した検出方法により、Mac または Windows デバイスを検出し、デスクトップ表示全体をハブにミラーリングします。また、IP アドレスを手動で入力する IP ベースの方法でコンテンツをストリーミングすることもできます。Mac または Windows プラットフォームでセッションを終了するには、ノートブックを閉じるか、設定でデバイスを手動で切断します。

セッションを制御するには、デバイスとハブの両方のマウスとキーボードを使用できます。詳しくは、[Mac](#)および[Windows](#)のドキュメントを参照してください。

長時間実行中のセッション

長時間実行中のセッションでは、画面をロックした状態でデバイスを停止できます。セッションが中断しないようにするには、以下のヒントを参考にしてください。

- バッテリーの最適化がセッションを妨げる可能性があります。バッテリーの最適化の影響を避けるには、Citrix Workspace アプリを Android のバッテリー最適化の無視リストに追加します：
 - Google Pixel では、[設定] > [バッテリー] > [バッテリーの最適化] > [すべてのアプリ] > [**Citrix Receiver**] > [最適化しない] を選択します。
 - ほとんどの Samsung デバイスでは、[設定] > [バッテリー] > [バッテリー使用量] > [バッテリー使用量の最適化] > [すべてのアプリ] > [**Citrix Receiver**] > [最適化しない] を選択します。

- サードパーティのバッテリー最適化アプリケーションを使用している場合は、Linux 向け Citrix Workspace アプリをその最適化リストから削除します。
- 画面をロックする前に、Citrix Workspace アプリのメインインターフェイスをフォアグラウンドに表示することをお勧めします。こうすることで、モバイルデバイスのオペレーティングシステムにより Citrix Workspace アプリのセッションが終了されることを防げます。
- デバイス画面がオフになると、スクリーンセーバーモードによりセッションが終了される場合があります。長時間実行されるセッションを使用するには、[ディスプレイ] > [スクリーンセーバー] 設定に [0] を設定します。



CITRIX workspace hub

Management

- General
- Connections
- Input
- Display
- Audio
- Drives/Printers
- Network
- Services
- Time

Screensaver

Display/Monitor / Screensaver

Up
Slideshow

Screensaver timeout (minutes)	<input type="text" value="0"/>
DPMS off-time (minutes)	<input type="text" value="0"/>
Lock time	<input type="text" value="0"/>

Save

標準ログ

標準ログを使用すると、Citrix Ready ワークスペースハブ内で実行されたプロセスの実行を記録し、モジュールごとにデバッグレベルを動的に変更することができます。

Citrix Virtual Apps のサポート

Citrix Ready ワークスペースハブは、複数の仮想アプリケーションまたは一度に 1 つのデスクトップセッションのみをシームレスに起動できます。Citrix Workspace アプリを使用してワークスペースハブから複数のアプリケーションを起動した場合、アプリケーションがハブの初回起動画面の後ろに表示されることがあります。アプリケーションを前面に移動させるには、次の 2 つの方法があります。

1. ハブの初回起動画面のメニューアイコンで、[**Citrix Virtual Apps**] > [すべての **Citrix Virtual Apps** を表示] の順にクリックして、起動したセッションをウィンドウモードで表示します。
2. [**Citrix Virtual Apps**] **ApplicationName** を選択して、選択したセッションを前面に表示します。

初回起動画面の自動ナビゲーション

Citrix Ready ワークスペースハブの 1812 リリースでは、試験的機能として初回起動画面の自動ナビゲーションが追加されています。この機能を使用するには、ワークスペースハブで初回起動画面の URL を複数設定します。初回起動

画面の下部にある矢印をクリックすることで、設定済みのリソースをシームレスに切り替えることができます。

画面キャストのセッションの切断

ワークスペースハブは、ノートブックを閉じると、Mac および Windows デバイス上のセッションを自動的に切断します。

Windows でこの設定を無効にするには、以下を実行します。

1. レジストリファイルに移動します: `HKEY_CURRENT_USER\SOFTWARE\Citrix\WorkspaceHub\Docke\r\LidStatusDisconnectConfigure`
2. 値 `LidStatusDisconnectEnable` を **False** に設定します。

Mac でこの設定を無効にするには、以下を実行します。

1. 設定ファイルに移動します: `/Users/Shared/Citrix Casting/CtxCfg.plist`
2. 値 `AutoDisconnectCastingWhenCloseLaptop` を **False** に設定します。

構成

ハブパッケージに `ctxlogd daemon` および `setlog` ユーティリティが含まれています。デフォルトでは、ハブを起動すると `ctxlogd daemon` が開始されます。

ctxlogd デーモン

トレース対象となる他のサービスはすべて、`ctxlogd daemon` に依存しています。`ctxlogd` に関連するプロセスを終了してハブのトレースを中止する場合は、`ctxlogd daemon` を停止することができます。このデーモンのログファイル `wsh.log` は、`/opt/Citrix/WorkspaceHub/Logs` にあります。

setlog ユーティリティ

`/opt/Citrix/WorkspaceHub/lib/wshlog` にある `setlog` ユーティリティを使用すると、モジュールごとのデバッグレベルを動的に変更できます。このユーティリティの実行権限があるのは、ルートユーザーのみです。コマンドの先頭に「`sudo`」を付けることで、Pi ユーザーを使用してコマンドを実行できます。

たとえば、次のようになります：

1. すべてのモジュールの現在のログレベルを確認するには：

```
sudo /opt/Citrix/WorkspaceHub/lib/wshlog/setlog levels
```

2. **controlService** モジュールのログレベルを冗長に設定するには：

```
sudo /opt/Citrix/WorkspaceHub/lib/wshlog/setlog level WSH_CONTROLSERVICE verbose
```

使用方法について詳しくは、`sudo /opt/Citrix/WorkspaceHub/lib/wshlog/ setlog --help` を実行して、ヘルプマニュアルを参照してください。

Citrix カスタマーエクスペリエンス向上プログラム (CEIP)

CEIP に参加すると、匿名の統計および使用状況情報が、Citrix 製品の品質およびパフォーマンスを向上させる目的で送信されます。

「[パートナーのサイトまたはアプリを使用する際の Google のデータの使用方法](#)」で説明されているとおり、Citrix Ready ワークスペースハブでは、データの分析を目的として Google Analytics を使用しています。CEIP をオフにすると、ワークスペースハブのハートビート中に最小限の情報のみが収集されます。詳しくは、「ワークスペースハブで収集される **CEIP** データ」の表を参照してください。

CEIP のスイッチ

デフォルトでは、CEIP への参加が自動で行われます。Stratodesk UI を使用して、CEIP をオフにすることができます。

ワークスペースハブで収集される **CEIP** データ

次の表に、収集される匿名情報の一覧を示します。データでは、お客様を特定するすべての詳細は含まれません。

データポイント	キー名	説明
自動ナビゲーション機能の有効化設定	auto_navigation	自動ナビゲーション機能が有効になっているかどうかを示します (1: 有効、0: 無効)。
OS のリリース	os_release	PI OS のリリース情報 (4.9.35-v7 など)
OS のバージョン	os_version	PI OS のバージョン情報 (2017-07-05-raspbian-Jessie など)
ワークスペースハブのバージョン	wsh_version	ワークスペースハブのバージョン情報 (1.0.72 など)
SSL 機能の有効化設定	ssl_mode	SSL 機能が有効になっているかどうかを示します (1: 有効、0: 無効)。
デュアルモニターの使用状況	monitor_mode	デュアルモニターが使用されているかどうかを示します (1: デュアルモニター、0: 単一のモニター)。
モニターの解像度	monitor_resolution_p3	p3 と接続されているモニター画面の解像度

データポイント	キー名	説明
モニターの解像度	monitor_resolution_p0	p0 と接続されているモニター画面の解像度
セッション継続時間（セッションローミング時のみ）	session_time	セッションの継続時間
ワークスペースハブの MAC アドレス	wsh_mac	ハブの MAC アドレス
ワークスペースハブの CEIP モード	ceip_mode	CEIP 機能が有効になっているかどうかを示します（1: 有効、0: 無効）。
Multiple-token 機能トグル	Multiple-token	Multiple-token 機能が有効になっているかどうかを示します（1: 有効、0: 無効）。

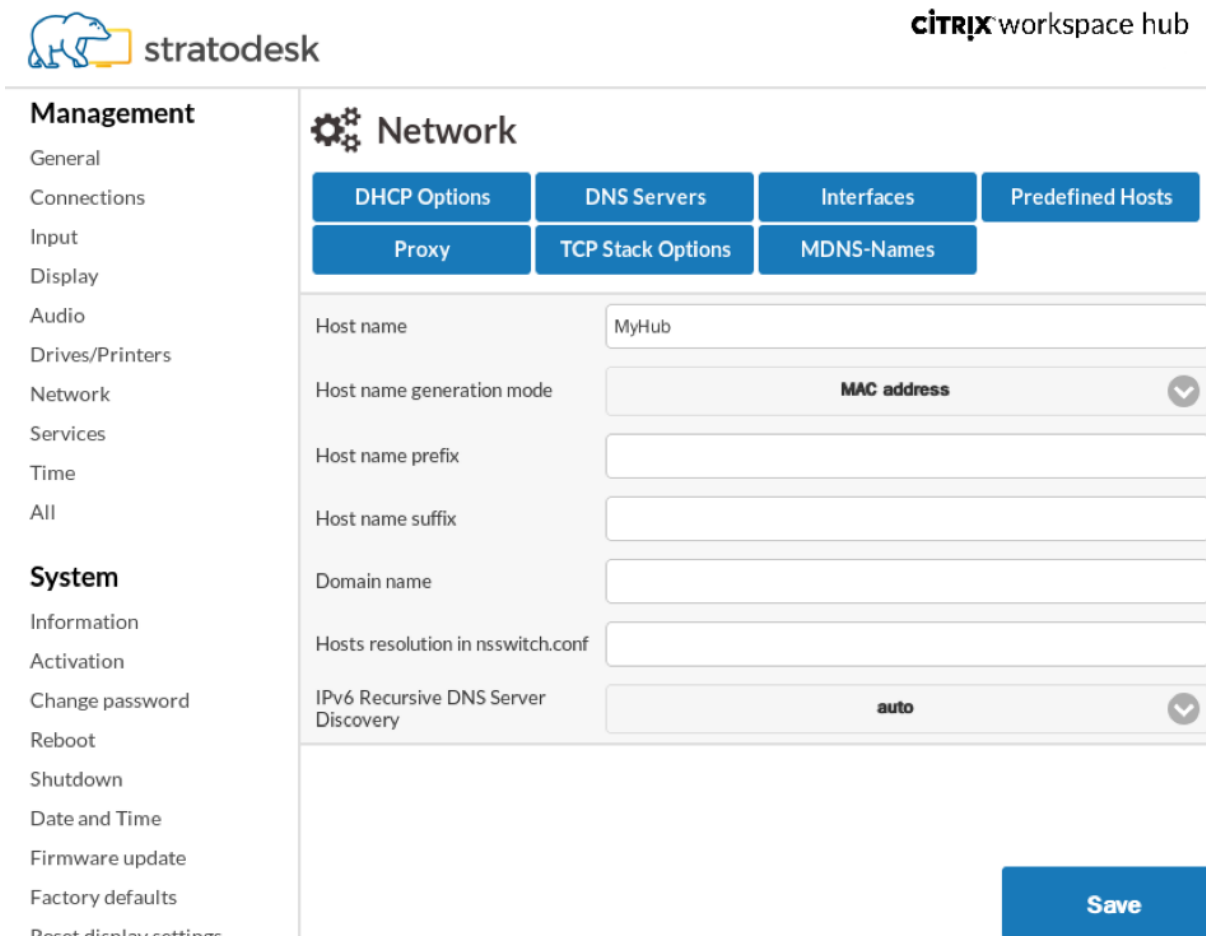
CEIP をオフにすると、Citrix では次の種類の匿名情報を収集します：

データポイント	キー名	説明
OS のリリース	os_release	PI OS のリリース情報（4.9.35-v7 など）
OS のバージョン	os_version	PI OS のバージョン情報（2017-07-05-raspbian-Jessie など）
ワークスペースハブのバージョン	wsh_version	ワークスペースハブのバージョン情報（1.0.72 など）
ワークスペースハブの MAC アドレス	wsh_mac	ハブの MAC アドレス

セキュリティ接続

セキュリティ上の理由から、Citrix Ready ワークスペースハブでは、モバイルデバイスとハブ間の SSL（Secure Sockets Layer）接続がサポートされます。各デバイスを一意に特定するため、完全修飾ドメイン名（FQDN）を設定する必要があります。

ドメインとホスト名を手動で構成する



The screenshot shows the Citrix Ready workspace hub interface. On the left is a navigation sidebar with 'Management' and 'System' sections. The 'Network' section is selected, showing a configuration page with a gear icon and the title 'Network'. Below the title are several tabs: 'DHCP Options', 'DNS Servers', 'Interfaces', 'Predefined Hosts', 'Proxy', 'TCP Stack Options', and 'MDNS-Names'. The main content area contains the following fields:

- Host name: MyHub
- Host name generation mode: MAC address (dropdown menu)
- Host name prefix: (empty text box)
- Host name suffix: (empty text box)
- Domain name: (empty text box)
- Hosts resolution in nsswitch.conf: (empty text box)
- IPv6 Recursive DNS Server Discovery: auto (dropdown menu)

A blue 'Save' button is located at the bottom right of the configuration area.

1. ネットワークグループに、ホスト名を入力します。証明機関（CA）の共通名はホスト名と一致するようにしてください。
2. 変更を保存してから、ハブを再起動します。
3. [ネットワーク] > [DNS サーバー] で、DNS サーバー名を追加してドメイン名を生成します。[システム] > [情報] で、ドメインが正常に作成されていることを確認します。

ドメインとホスト名を自動的に構成する

動的ホスト構成プロトコルサーバーから直接 FQDN を生成できます。詳しくは、「[ネットワーク構成](#)」を参照してください。

注:

SSL 接続が無効になっているか、ドメイン名を取得できない場合、QR コードにはドメイン名の代わりに IP アドレスが含まれます。

証明書のインストール

ドメインの SSL キーと証明書を構成します。

1. 証明書と秘密鍵を Citrix Ready ワークスペースハブに追加する方法については、<https://www.stratodesk.com/kb/Certificates>を参照してください。
2. 証明書ファイル (cert.pem) と秘密キーファイル (key.pem) の名前を更新して、[保存] をクリックします。どちらのオプションも、[接続] > [ワークスペースハブ] > [ワークスペースハブ] の下にあります。
3. ワークスペースハブを再起動して、この変更を適用します。

The screenshot shows the 'stratodesk' configuration interface for 'workspace hub'. The left sidebar lists various settings categories: General, Diagnostic, and Generic. The 'Diagnostic' section is expanded, showing 'Require SSL' (checked), 'SSL Port (default: 55556)', 'SSL Certificate File (.crt)' (cert.pem), and 'SSL Certificate Private Key File (.key)' (key.pem). A red box highlights the 'Require SSL' checkbox and the certificate file fields. Other settings include 'Show Citrix Virtual App' menu entry, 'Show System Configuration' menu entry, 'Show WiFi Configuration' menu entry, 'Show Refresh Network' menu entry, 'Show Exit' menu entry, and 'Show Reboot' menu entry, all with 'On' toggle switches. A 'Save' button is located at the bottom right.

モバイルデバイスにルート CA 証明書がインストールされていない場合は、ユーザーがハブで作業を開始する前に、自己署名証明書を構成できます。SSL 接続が有効な場合には、クライアントが証明書をチェックし、ホスト名を検証します。証明書のインストールプロセスは、デバイスのモデルによって異なります。

1. モバイルデバイスに証明書をダウンロードしてインストールします。

注:

集中管理なしで実行されている iOS デバイスの場合は、必ず証明書をユーザーに送信してください。

Android デバイスが証明書の形式を認識しない場合は、サフィックスを (.pem) から (.crt) に変更します。

2. 証明書の SSL 信頼設定を有効にします。

詳しくは、[iOS](#)および[Android](#)デバイスのヘルプドキュメントを参照してください。

ショートカット

- Control+Alt+S キーを押すと、関連するトラブルシューティング情報が表示されます。
- Control+Alt+C キーを押すと、構成メニューが表示されます。

- Citrix Casting では、電話の画面を 2 本の指で下にスワイプすると、セッションの状態やワークスペースハブへのキャスト方法に関係なく、セッションが切断されます。

トラブルシューティング

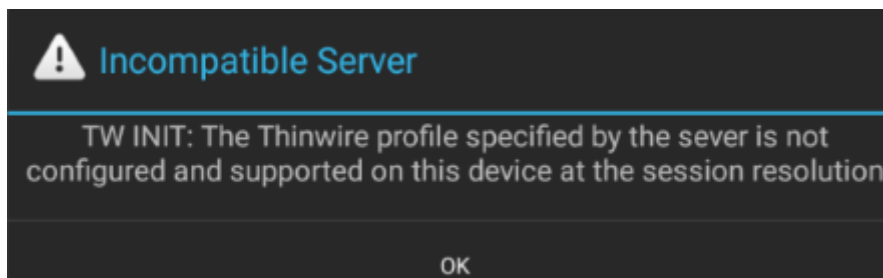
September 10, 2019

セッションキャストのエラー

Citrix Ready ワークスペースハブのセッションキャストは、全画面 H.264 グラフィックモードおよび選択的 H.264 グラフィックモードの両方をサポートしています。ただし、パフォーマンスの最適化のために、全画面 H.264 を使用することをお勧めします。セッションキャストに問題が発生した場合は、[グラフィックモード](#)が正しく構成されているかどうかを確認してください。

「互換性のないサーバー」メッセージ

Android 向け Citrix Workspace アプリでは、画面キャストに失敗すると次のメッセージが表示されます：



このエラーは、VDA でグラフィックモードが選択的 H.264 に構成されている場合に発生します。全画面 H.264 モードの方が、画面キャストのパフォーマンスは良好です。[システム構成] > [接続] > [ワークスペースハブ] でグラフィックモードを全画面に構成しなおすか、VDA をバージョン 1808 以降にアップグレードしてください。

SSL 関連の問題

SSL は、Citrix Ready ワークスペースハブではデフォルトで有効になっています。SSL 証明書が読み込まれ、そのパスがハブ上で正しく構成されていることを確認してください。SSL の構成に問題があると、Citrix Casting の起動に失敗する場合があります。セッションが応答なくなると、通知が表示されます。

ユーザーの問題	提案
<p>WorkspaceHubControlService プロセスが正しく開始されていません。</p>	<p>ターミナルで次のコマンドを実行します： <code>ps -ef grep ControlService</code>。プロセスが見つからない場合は、IT 部門に問い合わせてポート 55555 と 55556 がネットワーク内でブロックされていないことを確認してください。</p>
<p>ハブに証明書がインストールされていないのに SSL が有効になっているか、または SSL で間違った証明書パスが構成されています。</p>	<p>証明書とキーファイルが Citrix Ready ワークスペースハブにインストールされていることを確認します。これを行うには、<code>/opt/Citrix/WorkspaceHub/keystore/certs</code> に移動し、証明書がインストールされていることを確認します。Stratodesk イメージを使用している場合は、このパスをたどって、[システム構成] > [接続] > [Citrix ワークスペースハブ] > [ワークスペースハブ] で <code>ssl_enabled</code> 構成項目を見つけます。Citrix イメージを使用している場合は、<code>/opt/Citrix/WorkspaceHub/config/</code> にある ssl.config ファイルを確認します。</p>
<p>Citrix Ready ワークスペースハブで SSL が有効になっていますが、証明書がクライアントにインストールされていません。</p>	<p>クライアントにキーファイルをインストールします。</p>
<p>DisplayConnector プロセスがすでに実行されています。</p>	<p>以前の DisplayConnector プロセスインスタンスが正しく終了されていません。プロセスを終了して、再度キャストリングを試してください。</p>

セッションローミングの失敗

この問題は、新しい Citrix Ready ワークスペースハブを設定した後に発生する場合があります。ワークスペースハブの構成が VDA セッションに準拠していない場合、セッションローミングが正しく機能しなくなる場合があります。

この問題を解決するには、次の手順に従います。

1. ハブにインストールされている Linux 向け Citrix Workspace アプリを使用して、VDA セッションを開始します。
2. SSL が正しく構成されていることを確認します。

**Locations**

Corporate Headquarters | 851 Cypress Creek Road Fort Lauderdale, FL 33309, United States
Silicon Valley | 4988 Great America Parkway Santa Clara, CA 95054, United States

© 2021 Citrix Systems, Inc. All rights reserved. Citrix, the Citrix logo, and other marks appearing herein are property of Citrix Systems, Inc. and/or one or more of its subsidiaries, and may be registered with the U.S. Patent and Trademark Office and in other countries. All other marks are the property of their respective owner(s).